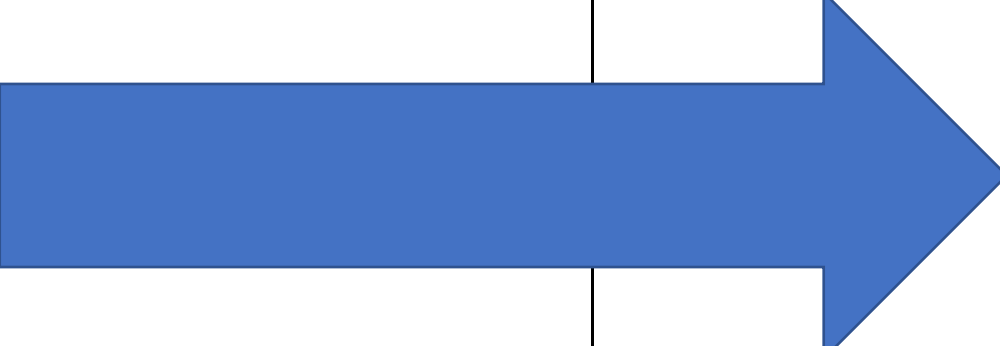
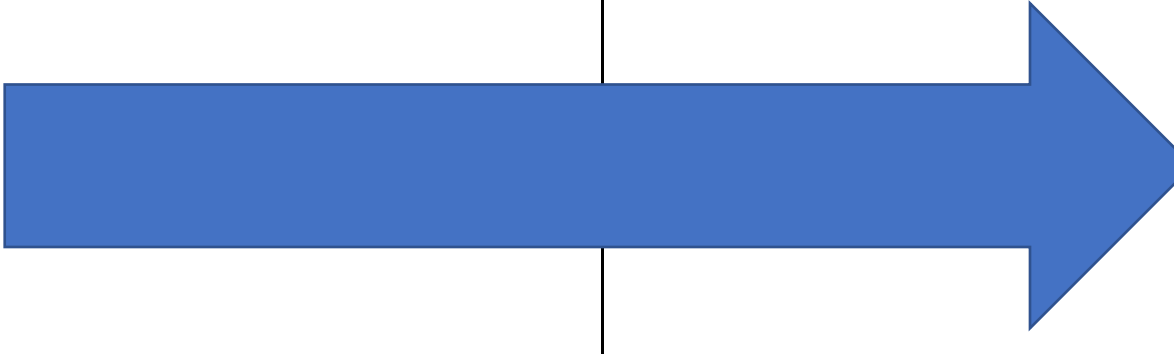
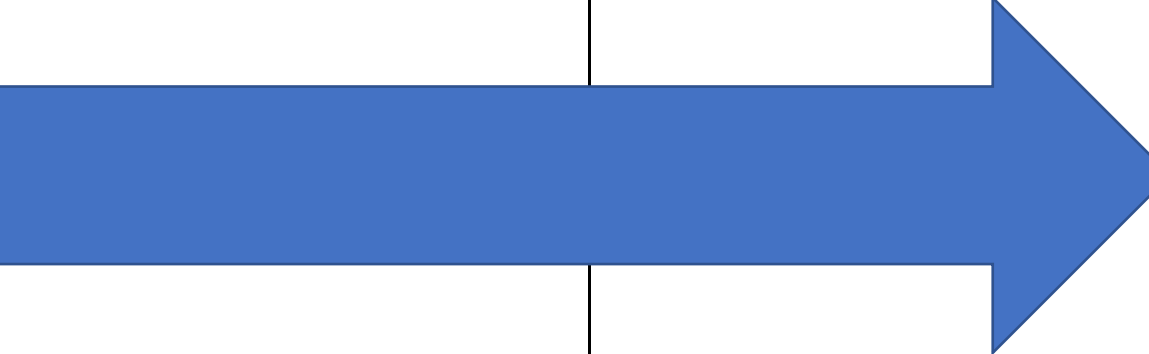
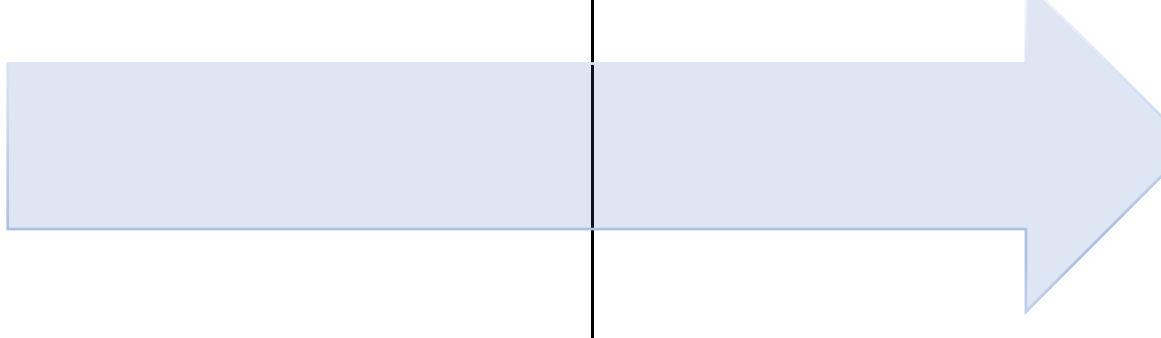
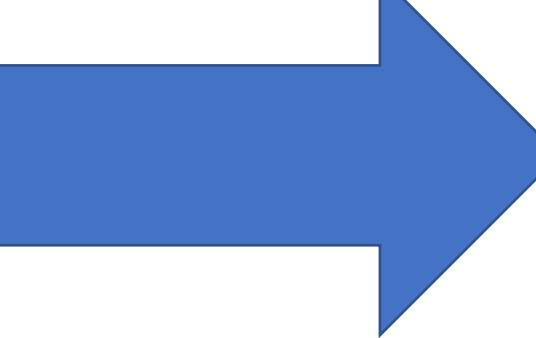
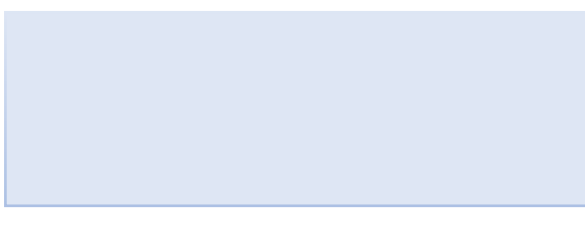
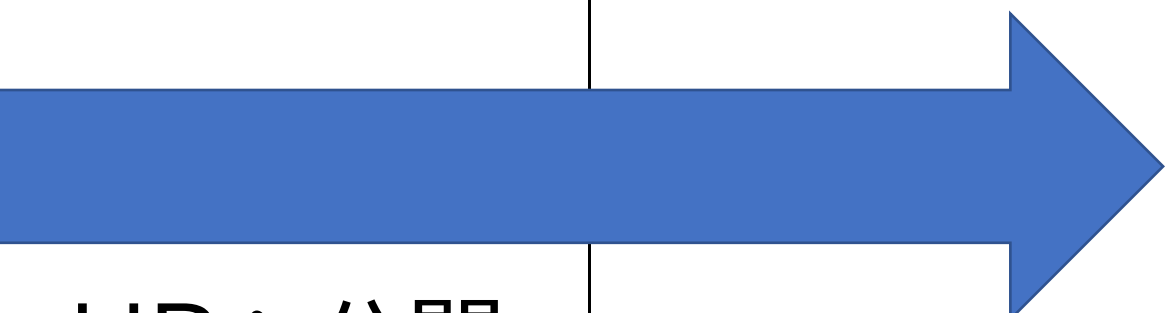


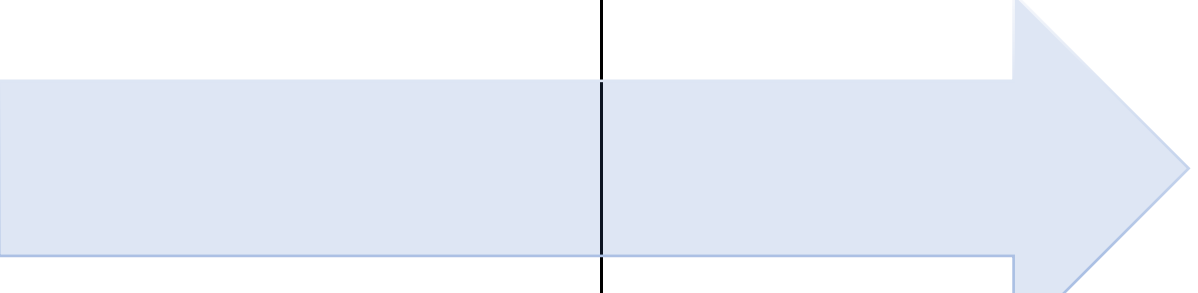
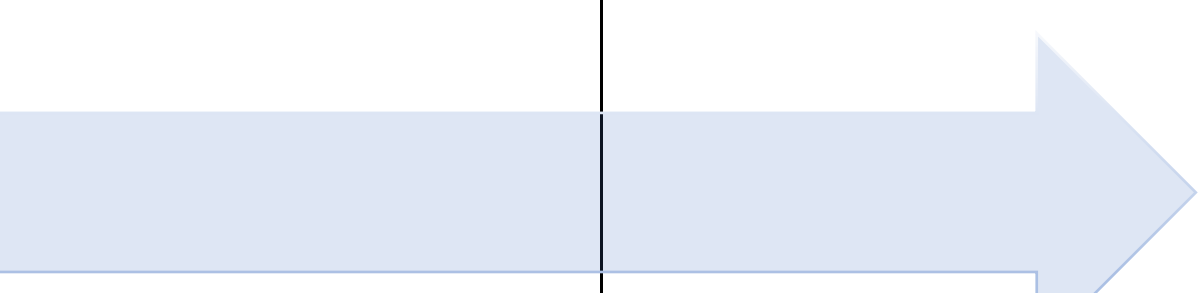
ワインを核とした地域活性化ビジョン進捗管理表(R6～R8)

柱	主要施策	取組内容	ビジョン 掲載年 度	具体的な取り組み内容 ※R6時点で考えられること		取組みを実現するためのアクション	R5	R6	R7	R8	
				実施済み、実施決定のもの	構想、又は検討段階のもの						
1.北斗産ワインのブランド化	A 市民意識の醸成	①広報ほくとを通じた市民周知	R5	・令和6年9月～令和7年9月の期間、隔月でワイン関連記事を掲載する。	・道南ワインガーデンのイベント紹介を皮切りにワイン販売店やふるさと納税に関する情報を発信。 ・北斗市でワインが生産されている背景やワインを核とした地域活性化などについても触れていく。 ・令和7年9月号では生産者の紹介と市民に向けての収穫作業等のボランティアを募集する。	・情報収集。 ・掲載案の作成。					
		②市民向けワイン勉強会の開催	R5	・高齢者大学での講演。(R4実施) ・市政スクールによるヴィンヤード見学。(10/18サッポロビール(株)予定)	・市政スクールによるヴィンヤード、ワイナリー見学。 ・カジュアルな学びの場の提供。	・ワインガーデン時に北斗産ワインの飲み比べを楽しめる場と学習機会を提供。			継続		
		③教育現場への情報提供	R5	・社会科副読本に掲載。 ・大野農業高校が作業実習を実施。 ・石別中がサッポロビール(株)で体験学習。		・学校との協議を継続し、定着化を図る。		継続			
		④ワイン産地であることの表示	R5	・バス停名を変更。(ワイナリー入口)	・他自治体の取り組みの研究。						
		⑤市有地での醸造用ぶどうの試験栽培・収穫体験の実施検討	R5		・八郎沼体験農園の活用検討。	・庁内検討。					
	B 全国への情報発信	⑥市ホームページにワイン特設ページの開設	R5	・市HPに生産者紹介記事を掲載。 ・北斗産ワインを楽しめる市内飲食店情報の追加。 ・HP閲覧者が興味を惹くようなバナー等の工夫を施す。	・コンテンツの充実。	・北斗産ワインを取り扱った実績のある飲食店にホームページ掲載の許可、記事内容の確認、写真提供を依頼する。			コンテンツの追加(随時)	バナー設置	
		⑦PR素材の製作や広告掲載	R5		・各種情報誌のほか、HP等のweb媒体を中心に展開する。 ・インフルエンサーの活用。(収穫作業等にくるワイン好きの方々に対し、SNSによる拡散をお願いするののも一つの手か。) ・ロゴ、キャッチの検討	・テレビ等メディアへの情報提供。 ・生産者をはじめ委員の皆様の協力。			SNS掲載の依頼	外部サイト検討	
	C 生産体制の確立支援	⑧市役所内の支援体制充実	R5	・市職員のボランティアによる収穫作業支援。	・ある程度参加者が増えた段階で、生産者も入ったLINEオープンチャットを作成し、お手伝いできる作業がある度に、投稿してもらい、いける人が行くというプラットフォームは作れないか。	・全職員に案内をかけ、興味がある職員の輪を地道に広げていく。 ・更に職員の家族、友人に向けて輪の拡大を図る。		支援継続			
		⑨醸造用ぶどう生産人材の育成	R5	・大野農業高校が作業実習を実施。 ・大野農業高校生徒に向けた道南ワインアカデミー(振興局主催の勉強会)によるセミナーの開催。	・新規就農者の受入体制の整備についても本項目で検討する。	・次回の検討会議にてビジョンの修正を検討する。				受入体制検討	

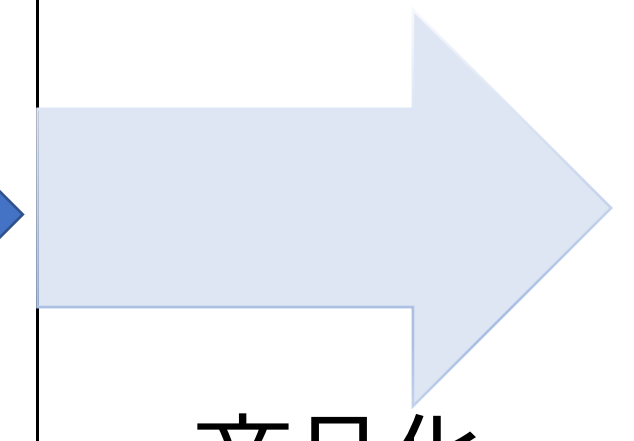
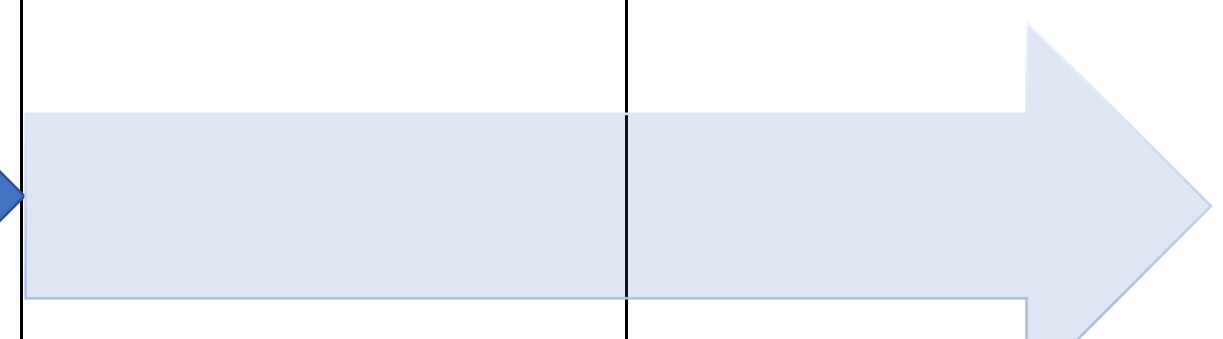
ワインを核とした地域活性化ビジョン進捗管理表(R6～R8)

柱	主要施策	取組内容	ビジョン 掲載年 度	具体的な取り組み内容 ※R6時点で考えられること		取組みを実現するためのアクション	R5	R6	R7	R8
				実施済み、実施決定のもの	構想、又は検討段階のもの					
		⑩市内農産物のワインへの活用	R5		・大野農業高校生徒が生産したリンゴでジュースを製造し、生産者がシードル化する。	・生産者と大農で継続協議。		 打診	 商品化検討	
		⑪醸造用ぶどう生産ほ場の拡大	R5		・観音山付近など醸造用ぶどうにとって条件の良いほ場の情報が農業委員会から出た場合はワイン事業者へ情報共有を図る。	・情報共有を実施。		 情報共有	 	
		⑫収穫マニュアルの作成	R5		・視覚的にわかりやすい解説動画を作成し、市HP等に掲載。	・収穫ボランティア時に動画撮影⇒編集⇒HPにて公開。		 動画撮影	 HPへ公開	

ワインを核とした地域活性化ビジョン進捗管理表(R6～R8)

柱	主要施策	取組内容	ビジョン 掲載年 度	具体的な取り組み内容 ※R6時点で考えられること		取組みを実現するためのアクション	R5	R6	R7	R8
				実施済み、実施決定のもの	構想、又は検討段階のもの					
2.ワインを通じた交 流人口の拡大	A 観光振興	⑬体験型観光商品の 開発・販売	R5		・生産者の受入体制確認。 ・最終的には農泊施設を絡めた試飲や料 理を楽しむツアー商品の造成を目指した い。	・ほ場に入ることは可能か、その際、説明 等をお願いできるか確認。(例えば、時期 を限定しても難しいか。)				
		⑭農泊施設を受け皿 とする来訪者へのサー ビス充実	R5		・事業内容の精査を含め、関係機関で調整 中。	・スケジュール、手続き等の確認。				
		⑮トラピスト修道院や 石別地区との連携・協 働	R5		・観光協会のツアー商品(北斗プチ散歩) とヴィンヤード見学を組み合わせた商品 の開発・実施。	・生産者にツアー中のほ場案内が可能か 確認。 ⇒可能な場合は観光協会に商品造成の 提案。				
		⑯ワイン用ぶどうオー ナー制度の導入	R5		・オーナー制度を設けている生産者は全 国各地にいるので、仕組み上は可能。生 産者と協議。	・生産者の考えを確認。				
	B イベント振興	⑰道南ワインガーデン の継続・拡充	R5	・昨年6月にサッポロビール(株)のファ ーストヴィンテージリリースに合わせて実 施。	・9/25に予定しているサッポロビール (株)の新商品リリース後となる10/6に開 催。 ・出店事業者の拡大。	・文月向野地区の生産者へイベント参加、 又は製品の提供可否を確認。				
		⑱文月・向野地区での ワインイベントの開催	R5		・生産者と交流できるようなイベントの開 催。	・余市等の事例研究。 ・生産者に構想確認。				

ワインを核とした地域活性化ビジョン進捗管理表(R6～R8)

柱	主要施策	取組内容	ビジョン 掲載年 度	具体的な取り組み内容 ※R6時点で考えられること		取組みを実現するためのアクション	R5	R6	R7	R8
				実施済み、実施決定のもの	構想、又は検討段階のもの					
3.地域経済への波及効果促進	A ワイン消費の促進	⑱ワイン関係事業者を対象とした勉強会の開催	R5		・市内飲食店に対し道南ワインアカデミー参加を促す。	・商工会を通じて通知。				
		⑳市内で販売・提供が可能な北斗産ワインの確保	R5	・現状、市内飲食店では数件の飲食店にて北斗産ワインが提供された実績がある。	・北斗産ワインを取り扱うことができる酒屋の拡充。(現状、一部の酒屋のみ実績あり) ・ <u>北斗産ワインを取り扱う飲食店の拡大。</u> (酒屋経由)	・酒屋と連携した、北斗産ワインを取り扱う飲食店の開拓。 ・生産者に市内の酒屋に製品を卸すにはどのようにすればいいのか確認。(製造量の問題、信頼関係の問題etc)				
		㉑市独自の認証店制度の創設	R5		・事業者が少ないため時期尚早。					
	B 関連商品の開発	㉒ワインを使用した新商品開発	R5	・ <u>北斗市新商品開発等支援事業補助金※の周知。</u> ※北海道立工業技術センターを利用し、商品開発や農水産分物の高付加価値化を目指す市内事業者へ経費の一部を助成するもの	・観光客へのPR効果も高そうなソフトクリーム事業者等への声掛け。(ナイアガラソフト等にすれば、北斗産ワインは使わなくても問題ないか。)	・ソフトクリーム事業者を中心に声掛け。		 		
		㉓ワインに合う食品の開発	R5		・中小企業競争力向上事業補助金の活用。(ふるさと納税返礼品に登録することで2/3の補助(最大50万))	・関連事業者への補助金制度紹介。				
		㉔残渣の活用	R5		・残渣の発生量調査、畜産農家の需要調査。	・調査の結果、畜産農家が必要とする残渣量がワイン事業者から発生する場合、マッチングを行う。		 確認	 マッチング	
		㉕北斗産ワインを返礼品として活用	R5	・(株)農楽は観光協会を通じて返礼品として活用開始予定。(現在、総務省へ承認申請中) ・(株)toroccoは返礼品として総務省から承認は下りているが未登録の状況。		・生産者や事業者への返礼品登録を継続して依頼する。(企画、商工、観光協会への協力を依頼。)		 依頼	 継続	
		㉖ワイン用ぶどうオーナー制度を返礼品として活用	R5		・生産者と協議。	・生産者の考えを確認。				